

本書の構成と特色

本書は、高校入試で出題頻度の高い言語事項を厳選し、単元別に分類・構成した教材です。

出題頻度の高い問題を厳選していますので、入試への総仕上げとして最適な問題集になっています。入試直前まで何度も繰り返し練習してください。

また、苦手な単元を集中して補強することも可能です。

本書を有効に活用して高校入試の基礎学力を養成し、志望校合格に役立ててください。

目次

1	漢字の読みとり	2
2	漢字の書きとり	8
3	同音異義語	14
4	同訓異字	17
5	常用漢字表 付表の語	20
6	対義語	22
7	四字熟語	23
8	慣用句	26
9	ことわざ	28
10	故事成語	31
11	入試頻出文法	37
12	文学史	46
13	重要古語	52

13 重要古語

□□①

いみじ【程度が甚だしい・ひどく悲しい・大

変恐ろしい】

【用例】御心地かきくらし、いみじく堪へ難け

れば（お心は悲しみにくれて、ひどく悲しく
て堪えられるものではなかったので）

□□②

つきづきし【似つかわしい・ふさわしい】

（源氏物語）

【用例】さらでもいと寒きに、火など急ぎおこ

して、炭持て渡るも、いとつきづきし（そう
でなくてもたいそう寒いときに、火などを急

いでおこして、炭を持って通つていくのも、
たいへん似つかわしい）

（枕草子）

□□③

つとめて【翌朝・早朝】

【用例】冬はつとめて。雪の降りたるはいふべ
きにもあらず（冬は早朝。雪が降っているの

は言うまでもない）

（枕草子）

□□④

つれづれなり【することがなく退屈なさま・

手持ちぶさた】

【用例】つれづれなるままに、日暮らし、硯に

むかひて（することがなく退屈であるのに任
せて、一日中、硯に向かいながら）

（徒然草）

□□⑤

ほい【本来の意志・もとの望み】

【用例】ゆかしかりしかど、神へ参るこそほい

なれと思ひて、山までは見ず（興味はありま
したけれど、神に参るのがもとの望みな
のだと思つて、山までは見ませんでした）

（徒然草）

□□⑥

やむごとなし【高貴である・格別である・捨

ておかれない】

【用例】かくやむごとなくおはします殿の、貫

之のぬしが家におはしましたりしこそ（この
ように高貴な身分の殿が、貫之殿の家にい
らっしゃったことこそ）

（大鏡）

□
□
⑦

ゆゆし

【すばらしい・甚だしい・忌まわしい】

【用例】 舍人^{とねり}など給^{たま}はるきははゆゆしと見ゆ

(普通の貴族も、舍人など賜るほどの身分の方は、すばらしく見える) (徒然草)

□
□
⑧

あさまし 【(良い意味でも悪い意味でも) 驚

きあきれるばかりである・(悪い意味で) お話にならない】

【用例】 このゐたる犬のふるひわななきて、涙

をただおとしにおとすに、いとあさまし (このうづくまっていた犬がぶる震えて、涙

をただ落とすに落とすので、ほんとうに驚きあきれるばかりだ) (枕草子)

□
□
⑨

あはれなり 【しみみと感動する・しみみ

と情趣が深い】

【用例】 野分^{のわき}のまたの日こそ、いみじうあはれ

にをかしかれ (台風の翌日はたいそうしみみと情趣が深い) (枕草子)

□
□
⑩

あやし

(怪し・奇^{あや}し) 【不思議だ・神秘的だ】

【用例】 風雲の中に旅寝することあやしきまで

妙^たなる心地はせらるれ (大自然の中で旅寝をするのは不思議なほどすばらしい気分にするものだ) (奥^{おく}の細道^{ほそみち})

□
□
⑪

(賤^{あや}し) 【見苦しい・身分が低い】

【用例】 あないみじや。いとあやしきさまを、

人や見つらむ (まあ大変なこと。ひどく見苦しいさまを人が見てしまっているだろうか) (源氏物語)

□
□
⑫

ありがたし 【めったにない・立派だ】

【用例】 ありがたきもの。舅^{しゅう}にほめらるる婿

(めったにないもの。舅にほめられる婿)

(枕草子)

□
□
⑫

うつくし【いとしい・かわいらしい】

【用例】 おほきにはあらぬ殿上わらはの、さうぞき立てられてありくもうつくし（体のそっくりで大きい殿上童が、立派な着物を着せられて歩いてゐるのもかわいらしい）

（枕草子）

□
□
⑬

かなし

（愛し）【いとしい・かわいい】

【用例】 翁をいとほしく、かなしとおぼしつることも失せぬ（翁を大切だ、いとしいとお思ひになることもなくなった）

（竹取物語）

（悲し・哀し）【なげかわしい・かわいそうだ】

【用例】 限りとて別るる道のかなしきにかまほしきは命なりけり（これを限りとしてあなたと別れて行くのはなげかわしいが生きたいと思う命であることよ）

（源氏物語）

□
□
⑭

なかなか【中途半端だ・なまはんかだ】

【用例】 なかなかに苦しきまでも嘆くけふかな（かえって苦しいほど嘆いてゐる今日であることよ）

（和泉式部日記）

□
□
⑮

ののしる【声高く言い騒ぐ・やかましくうわ

さをする・威勢がよくなる】

【用例】 御車寄せており給ふ程、「いたう苦しがり給ふ」とてののしる（御車を寄せて下車なさる時、「ひどく苦しんでいらつしやる」と言い騒ぐ）

（源氏物語）

□
□
⑯

めでたし【すばらしい・立派である・祝う価値がある】

【用例】 藤の花は、しなひながく、色こく咲きたる、いとめでたし（藤の花は、しなやかに長く、色濃く咲いてゐるのが、とてもすばらしい）

（枕草子）

□□
17

ながむ

(眺む) 【物思いに沈んでぼんやりと見やる・

遠くを見渡す】

【用例】 暮れがたき夏の日ぐらしながむればそ

のこととなくものぞ悲しき(なかなか暮れな

い夏の日を一日中ぼんやりと物思いにふけっ

ていると、何がというのではないがもの悲し

いことだ)

(伊勢物語)

(詠む) 【声を長く引いて詩歌を吟じる・詩歌

などを作って口ずさむ】

【用例】 「こぼれて匂ふ花桜かな」と詠めけれ

ば(「咲きこぼれて美しい桜の花よ」と口ず

さんだところ)

(今昔物語集)

□□
18

なほ 【やはり・さらに・なんととっても】

【用例】 和歌こそ、なほをかしきものなれ(和

歌こそ、なんととっても趣深いものである)

(徒然草)

□□
19

やうやう 【だんだんと・しだいに】

【用例】 花もやうやうけしきだつほどこそあれ

(桜もだんだんと咲きそうになる頃である

が)

(徒然草)

□□
20

やがて 【そのまま・すぐに】

【用例】 夕月夜ゆづくよのをかしきほどに、出だし立て

させ給ひて、やがて眺めおはします(夕月夜

の美しい頃に、「使者を」出發させなさって、

そのまま物思いに沈んでぼんやりと見てい

らっしゃいます)

(源氏物語)

□□
21

ゆかし 【心がひきつけられる・なつかしい】

【用例】 そもそも、参りたる人ごとに山へ登りし

は、何事がありけん、ゆかしかりしかど(そ

もそも、参詣する人が皆山へ登るのは、何事

かあるのだろうか、気になったけれど)

(徒然草)

□
□
22

をかし【こっけいだ・趣がある・優れている】

【用例】 雁かりなどのつらねたるが、いとちひさく

みゆるはいとをかし（雁などの連なっている

様子が、とても小さく見えるのはとても趣が

ある）

（枕草子）

□
□
23

否定の「え」【下に打ち消しまたは反語の言

い方を伴って）くすることが

できない・十分にくしない】

【用例】 人のそしりをもえはばからせ給はず

（他人の非難に気兼ねすることもおできにな

らず）

（源氏物語）

□
□
24

なくそ【くするな（禁止の意を表す）】

【用例】 昔思ふ草のいほりの夜の雨に涙な添へ

そ山ほととぎす（過去を悲しく思い出して

る粗末な小屋での夜の雨に涙を添えてくれる

な、ほととぎすよ）

（新古今和歌集）

出題範囲表

回次	出題内容	
第1回	1 漢字の読みとり①～⑮	8 慣用句①～④
	2 漢字の書きとり①～⑮	9 ことわざ①～③
	3 同音異義語①～②	10 故事成語①～②
	4 同訓異字①～②	11 入試頻出文法(1)
	5 常用漢字表 付表の語①～④	12 文学史①～③
	6 対義語①～②	13 重要古語①～②
	7 四字熟語①～⑤	
第2回	1 漢字の読みとり⑮～⑳	8 慣用句⑤～⑧
	2 漢字の書きとり⑮～⑳	9 ことわざ④～⑥
	3 同音異義語③～④	10 故事成語③～④
	4 同訓異字③～④	11 入試頻出文法(2)
	5 常用漢字表 付表の語⑤～⑧	12 文学史④～⑥
	6 対義語③～④	13 重要古語③～④
	7 四字熟語⑥～⑩	
第3回	1 漢字の読みとり⑳～㉕	8 慣用句⑨～⑫
	2 漢字の書きとり⑳～㉕	9 ことわざ⑦～⑨
	3 同音異義語⑤～⑥	10 故事成語⑤～⑥
	4 同訓異字⑤～⑥	11 入試頻出文法(3)
	5 常用漢字表 付表の語⑨～⑫	12 文学史⑦～⑨
	6 対義語⑤～⑥	13 重要古語⑤～⑥
	7 四字熟語⑪～⑮	
第4回	1 漢字の読みとり㉕～㉙	8 慣用句⑬～⑯
	2 漢字の書きとり㉕～㉙	9 ことわざ⑩～⑫
	3 同音異義語⑦～⑧	10 故事成語⑦～⑧
	4 同訓異字⑦～⑧	11 入試頻出文法(4)
	5 常用漢字表 付表の語⑬～⑯	12 文学史⑩～⑫
	6 対義語⑦～⑧	13 重要古語⑦～⑧
	7 四字熟語⑯～㉔	
第5回	1 漢字の読みとり㉙～㉛	8 慣用句⑰～㉒
	2 漢字の書きとり㉙～㉛	9 ことわざ⑬～⑮
	3 同音異義語⑨～⑩	10 故事成語⑨～⑩
	4 同訓異字⑨～⑩	11 入試頻出文法(5)
	5 常用漢字表 付表の語⑰～㉒	12 文学史⑬～⑮
	6 対義語⑨～⑩	13 重要古語⑨～⑩
	7 四字熟語㉔～㉙	
第6回	1 漢字の読みとり㉛～㉞	8 慣用句㉔～㉙
	2 漢字の書きとり㉛～㉞	9 ことわざ⑯～⑲
	3 同音異義語⑪～⑫	10 故事成語⑪～⑫
	4 同訓異字⑪～⑫	11 入試頻出文法(6)
	5 常用漢字表 付表の語㉔～㉙	12 文学史⑯～⑲
	6 対義語⑪～⑫	13 重要古語⑪～⑫
	7 四字熟語㉞～㉛	
第7回	1 漢字の読みとり㉞～㉟	8 慣用句㉙～㉛
	2 漢字の書きとり㉞～㉟	9 ことわざ⑲～㉔
	3 同音異義語⑬～⑭	10 故事成語⑬～⑭
	4 同訓異字⑬～⑭	11 入試頻出文法(7)
	5 常用漢字表 付表の語㉙～㉛	12 文学史㉔～㉙
	6 対義語⑬～⑭	13 重要古語⑬～⑭
	7 四字熟語㉛～㉞	
第8回	1 漢字の読みとり㉟～㉫	8 慣用句㉛～㉞
	2 漢字の書きとり㉟～㉫	9 ことわざ㉔～㉙
	3 同音異義語⑮～⑯	10 故事成語⑮～⑯
	4 同訓異字⑮～⑯	11 入試頻出文法(8)
	5 常用漢字表 付表の語㉛～㉞	12 文学史㉙～㉛
	6 対義語⑮～⑯	13 重要古語⑮～⑯
	7 四字熟語㉞～㉟	

回次	出題内容	
第9回	1 漢字の読みとり㉫～㉭	8 慣用句㉞～㉟
	2 漢字の書きとり㉫～㉭	9 ことわざ㉙～㉔
	3 同音異義語⑰～⑱	10 故事成語⑰～⑱
	4 同訓異字⑰～⑱	11 入試頻出文法(9)
	5 常用漢字表 付表の語㉛～㉞	12 文学史㉛～㉞
	6 対義語⑰～⑱	13 重要古語⑰～⑱
	7 四字熟語㉟～㉫	
第10回	1 漢字の読みとり㉭～㉯	8 慣用句㉟～㉫
	2 漢字の書きとり㉭～㉯	9 ことわざ㉔～㉙
	3 同音異義語⑲～㉒	10 故事成語⑲～㉒
	4 同訓異字⑲～㉒	11 入試頻出文法(10)
	5 常用漢字表 付表の語㉞～㉟	12 文学史㉞～㉟
	6 対義語⑲～㉒	13 重要古語⑲～㉒
	7 四字熟語㉫～㉭	
第11回	1 漢字の読みとり㉯～㉱	8 慣用句㉫～㉭
	2 漢字の書きとり㉯～㉱	9 ことわざ㉙～㉔
	3 同音異義語㉒～㉕	10 故事成語㉒～㉕
	4 同訓異字㉒～㉕	11 入試頻出文法(11)
	5 常用漢字表 付表の語㉟～㉫	12 文学史㉟～㉫
	6 対義語㉒～㉕	13 重要古語㉒～㉕
	7 四字熟語㉭～㉯	
第12回	1 漢字の読みとり㉱～㉳	8 慣用句㉭～㉯
	2 漢字の書きとり㉱～㉳	9 ことわざ㉔～㉙
	3 同音異義語㉕～㉘	10 故事成語㉕～㉘
	4 同訓異字㉕～㉘	11 入試頻出文法(12)
	5 常用漢字表 付表の語㉫～㉭	12 文学史㉫～㉭
	6 対義語㉕～㉘	13 重要古語㉕～㉘
	7 四字熟語㉯～㉱	
第13回	1 漢字の読みとり㉳～㉵	8 慣用句㉱～㉳
	2 漢字の書きとり㉳～㉵	9 ことわざ㉙～㉔
	3 同音異義語㉗～㉚	10 故事成語㉗～㉚
	4 同訓異字㉗～㉚	11 入試頻出文法(13)
	5 常用漢字表 付表の語㉛～㉞	12 文学史㉛～㉞
	6 対義語㉗～㉚	13 重要古語㉗～㉚
	7 四字熟語㉛～㉞	
第14回	1 漢字の読みとり㉵～㉷	8 慣用句㉳～㉵
	2 漢字の書きとり㉵～㉷	9 ことわざ㉔～㉙
	3 同音異義語㉚～㉜	10 故事成語㉚～㉜
	4 同訓異字㉚～㉜	11 入試頻出文法(4)～(6)
	5 常用漢字表 付表の語㉞～㉟	12 文学史㉞～㉟
	6 対義語㉚～㉜	13 重要古語㉚～㉜
	7 四字熟語㉞～㉟	
第15回	1 漢字の読みとり㉷～㉹	8 慣用句㉵～㉷
	2 漢字の書きとり㉷～㉹	9 ことわざ㉙～㉔
	3 同音異義語㉜～㉞	10 故事成語㉜～㉞
	4 同訓異字㉜～㉞	11 入試頻出文法(7)～(9)
	5 常用漢字表 付表の語㉙～㉔	12 文学史㉙～㉔
	6 対義語㉜～㉞	13 重要古語㉜～㉞
	7 四字熟語㉞～㉟	
第16回	1 漢字の読みとり㉹～㉱	8 慣用句㉷～㉹
	2 漢字の書きとり㉹～㉱	9 ことわざ㉔～㉙
	3 同音異義語㉞～㉟	10 故事成語㉞～㉟
	4 同訓異字㉞～㉟	11 入試頻出文法(10)～(12)
	5 常用漢字表 付表の語㉛～㉞	12 文学史㉛～㉞
	6 対義語㉞～㉟	13 重要古語㉞～㉟
	7 四字熟語㉟～㉫	

第1回

高校入試必須事項の完成

基本完成チェックテスト

名前

国語

制限時間

15分

MINIMUM
REQUIREMENT

MR

1 【漢字の読みとり】 次の——線部の漢字の読みをひらがなで答えなさい。

- (1) 窓から夕日を眺める。
- (2) 会場の雰囲気に圧倒される。
- (3) 今日までの恩恵に報いる。
- (4) イベントの参加者を募る。
- (5) 文章の体裁を整える。
- (6) 彼はチームの優勝に貢献した。
- (7) 過去の遍歴を顧みる。
- (8) 新事業への参入を示唆する。
- (9) 湖の澄んだ水に感動する。
- (10) 布に覆われた箱を見つける。

2 【漢字の書きとり】 次の——線部のカタカナを漢字に直しなさい。

- (1) エンソウ会のチケットを手に入れる。
- (2) 象が長い鼻で水をアびる。
- (3) 長距離走のタイムをチヂめる。
- (4) 用事がスむまで待つ。
- (5) 長年のヤクソクを果たす。
- (6) 河川敷のごみをヒロウ。
- (7) まじないをトナえる。
- (8) 突然の贈り物に妹がテれる。

- (9) 白い布が藍色にソまる。
- (10) 注文した品が家にトドく。

3 【同音異義語】 次の——線部のカタカナを漢字に直しなさい。

- (1) 問題のカイホウを研究する。
- (2) 病人をカイホウする。

4 【同訓異字】 次の——線部のカタカナを漢字に直しなさい。

- (1) アタタかいスープを飲む。
- (2) アタタかい春が訪れる。

5 【常用漢字表 付表の語】 次の漢字の読みをひらがなで答えなさい。

- (1) 行方
- (2) 時雨

6 【対義語】 次のそれぞれの二つの熟語が対義語になるように、□の中に漢字を一字入れなさい。

- (1) 栄 □ ↔ 左遷
- (2) 一般 ↔ 特 □

7

【四字熟語】 次の四字熟語の意味を後から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- (1) 一石二鳥
- (2) 千差万別
- (3) 一朝一夕
- (4) 有名無実

ア わずかの時日・期間のたとえ。

イ 評判ばかりで、内容・実質が伴わないこと。

ウ 一つのことをして二つの利益を得ること。

エ 多くのものがそれぞれ違っていること。

8

【慣用句】 次の意味を表す慣用句を書きなさい。

- (1) ほっと安心する。
- (2) 突然のことに驚くこと。
- (3) 相手の言い間違いや言葉じりをとらえて責める。

9

【ことわざ】 次の意味を表すことわざを書きなさい。

- (1) 去るときにきれいに後始末をする。
- (2) 悪いことはたちまち世間に知れ渡る。
- (3) 風流よりも実利を好むこと。

10

【故事成語】 次の意味を表す故事成語を漢字を使って書きなさい。

- (1) 双方が争っているすきにつけ込んで、第三者が利益を横取りすること。
- (2) 余計な付け足しをすること。あっても無駄なこと。

11

【入試類出文法】 次の各文を文節に区切り、その数を書きなさい。

- (1) 雲をいただいた高い山が輝いている。
- (2) 僕はそのことを一言も口にしなかった。
- (3) 僕はうんざりして引き返した。
- (4) 幼稚園に行っていたときであった。
- (5) 信号が赤だったので交差点の歩道に立ち止まった。
- (6) ある夏のむし暑い日のことだった。

12

【文学史】 次の文学作品名を書きなさい。

- (1) 舎人親王・太安万侶らが編纂した歴史書。
- (2) 柿本人麻呂・山部赤人らの歌を収録した最古の歌集。

13

【重要古語】 次の古語の意味を後から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- (1) つきづきし
- (2) いみじ
- ア 中途半端だ。なまはんかだ。
- イ めったにない。立派だ。
- ウ やはり。さらに。なんととっても。
- エ 似つかわしい。ふさわしい。
- オ 程度が甚だしい。ひどく悲しい。大変恐ろしい。